

二十歳を迎えた 46 期生の皆さんへ

今年度、二十歳を迎えられた第46期卒業生【令和5(2023)年3月卒業】の皆さんに向けて、当時の担任団の先生方からメッセージをいただきました。

先生方には同窓会より連絡を取らせていただき、二十歳になった皆さんに向けて、字数も内容も特に決めず、自由にメッセージを書いていただくよう、お願いをしました

皆さんそれぞれの高校時代、そして当時の先生方を思い出しながら、どうぞご覧ください。

ちなみに右の写真は、46期の皆さんが卒業の際に「卒業記念品」として学校に贈った、大型液晶ディスプレイです。後輩の現役生徒の皆さんに活用され、授業の役に立っています。



3年1組 中野 勝延 先生

46期の皆さん、ご無沙汰、元気ですか！中野です！

46期が最後の担任とやってきましたが、現在、老体にムチを打ちながら1年の担任をやってまーす！
ですので、卒業させるまでは今の学校へ居る覚悟を持って勤務しています。

是非、遊びに来て下さい。連絡を待ってまーす。

私の成人式は、福岡へ招待試合だったので残念ながら思い出は何にもありません。みんなは、中学、高校と集まりがあると思いますので親睦を深めて楽しい思い出を作して下さい。

皆さんのこれからの活躍に期待してまーす。

最後に、育ててくれた家族に感謝の言葉も忘れずに。以上で一す。

3年2組 谷屋 芙由美 先生

46期のみなさん、成人おめでとうございます！もう20歳なのですねえ～～～！

20歳といえば、お酒を飲めたりタバコを吸えたり、合法的に出来ることが増える年齢ですね！きっと楽しいと思うことも増えると思います。ですが同時に、世間的に見てもこれからは子供という目で見られることはなく、1人の大人として節度を持って行動しなければなりません。心してくださいね！

昨年、金井高校を離れた私は、いまは工業高校に勤務しています。土木や溶接を学ぶ子供たちに、数学の面白さを伝えるのは中々に苦戦しています…。また、少々やんちゃな生徒もいますが、可愛らしさを感じることも多く、金井とはまた違う教育の良さを日々感じる事が出来ています。ちなみに担当は生活指導です(笑)

私にとって初めて担任をした46期の皆さん。特別な学年です。元気かな？勉強してるかな？友達は出来たかな？ずーっと気にかけています！これから先大人になってもずーっと気かけます！なので、忙しい時期だと思いますが、落ち着いたら是非顔を見せてくださいね

20歳おめでとう！

3年3組 大松澤 優 先生



二十歳になった46期の皆さん、おはようございます、こんにちは、こんばんは、大松澤です。おめでとうございます。もう二十歳…、時間がたつのが早いですね。人生の中でも楽しい時期ではないでしょうか。しかし、皆の行動には責任が伴うことだけは理解して行動していきましょう。私が二十歳の時は今と変わらずテニスと講義の日々で、毎日遊んでいた気がします。何度終電を逃し、友人の家で騒いでいたかは数え切れません。

話は変わりますが、皆さんがこの文書を読んでいる頃は、私は教員生活としては生徒支援Gではなく、進路Gに所属して金井にいた頃とは異なる指導をしています。一方、私生活では結婚をし、新居に引っ越しをし、そろそろ子どもが生まれる頃でしょうか。皆が卒業して2年しか経過していませんが、「たかが2年、されど2年」で我が人生は日々さまざまなことが起きています。私にも起きているということは、皆さんにも日々さまざまなことが起きていると思います。毎日の変化を楽しんで、十人十色さまざまな方向に成長してください。そして皆さんが成長した姿をいつか何かしらの形で目にする日を楽しみにしております。また逢う日まで。

3年4組 若林 善文 先生

皆さん、お久しぶりです。成人の日を迎え、おめでとうございます。

二十歳を迎えるにあたって、元気に過ごしていますか。

皆さんは、教員生活最後の担任として持つことになった学年、そして、あの未曾有のコロナ禍と、とても記憶に残る生徒たちでした。

私は皆さんとともに金井高校を卒業し、去年は保土ヶ谷高校、今年4月からは霧が丘高校に勤めています。五体満足だったはずの体も、昨年ついに悲鳴を上げ、心臓の手術を受ける羽目になってしまいました。今は何とか元気に、サッカー部の顧問をしながら働いています。

さて、旧3年4組では、担任が卒業式のときに伝えた、「修学旅行で行けなかった与論島」でクラス会を開こう、ということを実行しようとしてくれている人たちがいて、3月に行こうと誘ってくれています。場所も場所ですし、全員が集まるのは難しいと思いますが、その気持ちだけでも有難く、感激しております。また、遠くだけではなく、近くでも皆さんに会えるのを楽しみにしています。

他のクラスでも担任を誘い、旧友と顔を合わせてみてください。そしてさらに学年全体で顔を合わせる日が来ることを楽しみにしています。教員にとって、一番の財産は「卒業生」の元気な顔なのです。

3年5組 成川 茜 先生

46期生の皆さん、お久しぶりです。卒業から2年が経とうとしていますが、いかがお過ごしでしょうか。

私は、皆さんと同じタイミングで金井高校を離れ、現在は教員の学びをサポートする場所で働いています。業務内容ががらっと変わってしまったので、異動当時は柄にもなく気が塞ぎ、卒業アルバムや学級日誌、もらった色紙や手紙を見返して自分を奮い立たせる……なんてこともありました。今は問題なくやっていますが、私は学校で皆さんから元気をもらって働いていたのだなあ実感する日々です。

二十歳を迎え、今後本格的に大人として社会に関わっていく中で、皆さんも落ち込んだり悩んだりすることがあるかもしれません。自由のきく範囲が広がる分、自分で判断・決定しなければならない場面が増え、不安を覚えることもあるでしょう。そんなときに、頼れる人や場所、もの・ことが、今、思い浮かぶでしょうか。

ぜひ、いろいろな縁や繋がりを大事に育て、元気を得られる拠り所としてください。(少なくとも「金井高校」「46期」という繋がりはありますね！)

皆さんが、それぞれの場所で、心身ともに健康な状態で活躍していることを祈ります。改めて、二十歳、おめでとうございます。

3年6組 川上 潤 先生

みなさんお久しぶりです！川上です。

まずは二十歳になったみなさん、おめでとうございます！

入学してきたばかりのあのかわいかった46期生がもう二十歳かと思うと感慨深いです。(と同時に、そりゃ自分も歳取るよなという事実に気付き震えています)

二十歳と言えば、就職活動などが頭をチラつきはじめ、色々と将来のことについて悩み始める時期だと思います。

僕が大学生の頃はリーマンショックの影響で採用をストップする企業が続出し、将来が全く見えない中で大学生活を過ごしました。結局そのまま新卒では就職せず、海外を放浪したり、ブラック企業に就職したり、

たくさん遠回りをして今のこの仕事に出会うことができました。

今考えると、二十歳の時に想像した未来とは全くかけ離れた人生を歩んでいます。

おそらくみなさんの中のほとんどの人も、10年後、今では全く想像できない人生を歩んでいることでしょう。

一見遠回りに見えることも、後で振り返ると全てがプラスの経験になっているはずですよ。これからうまくいかないこともつらいこともたくさんあるかと思いますが、その「遠回り」が自分を作る大切な要素になっていることを覚えておいてください。

みなさんの今後の活躍を心よりお祈りしています！

3年7組 山田 阿有美 先生

祝 二十歳。

46期生の皆さん、おめでとうございます。もう、卒業から2年も経過してしまうのですね。本当に早いものです。46期の担任団もそれぞれの場所へ異動してしまい、金井高校勤務は山田ただ1人だけになってしまいました。それぞれ忙しい毎日を送っておられると思いますが、気が向いたら共に学んだ仲間と昔話をしながら金井高校を訪ねてくれると嬉しいです。皆さんのこれからの人生に幸多からんことをお祈りしております。

3年8組 今井 和彦 先生

46期生の皆さんおめでとうございます。卒業して2年、それぞれの道で立派に活躍していることと思います。私にとっては担任として最後の生徒となり特別な学年でした。振り返るとたくさんの方が蘇ります。コロナの真っ最中に入學してきた皆さんは入学式以降もしばらくは全員揃うことなく、これが高校生活なのかといえるような大変な時期でしたよね。それから数々の行事などが無くなったり変更になったりしましたが、過ぎてしまえば楽しい思い出として残っています。

私は昨年度末をもって退職しました。今は第二の人生をスタートさせています。何がしたいのか、何が出来るのか、改めて熟慮しているところです。そんななか昨年11月に私の高校の同窓会が8年振りに開催され、200名近くの同級生が集まりました。やっぱり高校の仲間はいいですね。さすがに皆んな歳を取りましたが、一瞬で昔の自分に戻り懐かしい記憶が蘇りました。こんな思いを皆さんにもしてもらいたいと思うので、是非集まる機会を作ってください。先生や同級生と高校時代のこと、語り合いましょう。そんな日が来るのを楽しみに待っています。

これからの皆さんの人生に幸多かれと祈念し、46期生一人一人の活躍を陰ながら応援して行きたいと思います。それではまた.....。

2年3組 矢島 由和 先生



二十歳を迎えた46期生のみなさん、おめでとうございます。勉強やお仕事など、忙しく過ごしているのでしょうか。10月にWEB版の会報で紹介していただいた通り（まだ読んでいない方がいればぜひご覧ください）、これを書いている2024年12月現在、セネガルという国で暮らしています。みなさんとはちょうど10歳離れている私は、先日ここセネガルで節目の年を迎えました。セネガルではあまり他人の年齢を気にしないようで、誰にも「何歳になったの？」とは聞かれませんが、やはり自分としては大きな節目で、今までとこれからの人生について考えるタイミングになりました。二十代をふり返ってみると、様々なことに興味があり、常に何か新しいことを求めている気がします。周りからすると、なんだかふらふらしている人だと思われていたかもしれませんが、体力があるうちに現在のセネガルでの活動を含め、色んな挑戦ができて良かったと思っています。みなさんのこれからの10年間も、充実した日々になることを心から願っています！

※WEB版同窓会報第3号「教員としてアフリカ・セネガル共和国へ～矢島由和先生インタビュー～」

<https://kanai-hs.com/?p=559>